

令和4年10月6日(木)
柏市南部クリーンセンター

第49回(第35回定例会)柏市第二清掃工場運営委員会
資料(報告事項等)

目次

第1 監視項目(令和4年2月～令和4年7月分)	1 ～ 16
第2 周辺環境監視項目	18 ～ 20
第3 報告事項	21 ～ 22
第4 放射性物質対応経過	23 ～ 25
第5 実施状況及び今後の日程	26 ～ 27

第1 監視項目（令和4年2月～令和4年7月分）

1 排ガス

測定頻度	年6回
------	-----

測定業者：中外テクノス株式会社

項目	基準値		測定結果			評価 *1
	法基準(参考)	保証値	測定日	1号炉	2号炉	
ばいじん (g/m ³)	0.04 以下	0.01 以下	2/1	0.002 未満	-	○
			4/5	0.002 未満	-	○
			7/5	-	0.002 未満	○
硫黄酸化物 (ppm)	K 値 9 以下 *3	10 以下	2/1	0.4 未満	-	○
			4/5	0.4 未満	-	○
			7/5	-	0.4 未満	○
塩化水素 (ppm)	430 以下	10 以下	2/1	0.3	-	○
			4/5	0.3	-	○
			7/5	-	0.3未満	○
窒素酸化物 (ppm)	250 以下	30 以下	2/1	11	-	○
			4/5	13	-	○
			7/5	-	11	○
水銀 (μg/m ³)	50 以下	30 以下	2/1	0.54	-	○
			4/5	0.16	-	○
			7/5	-	0.43	○
一酸化炭素 (ppm)	30 以下 *2	30 以下	2/1	4 未満	-	○
			4/5	4 未満	-	○
			7/5	-	4 未満	○

*1) 評価の欄は保証値に対しての評価です。

*2) 一酸化炭素は法基準ではなくごみ処理に係るダイオキシン類発生防止等ガイドライン(平成9年1月)によります。

*3) 硫黄酸化物のK値規制とは、大気汚染の程度によって16段階の地域に分け、それぞれ係数(K値)が定められており、計算式により許容量(濃度)を算出します。

硫黄酸化物の法基準：122m³/h (約 2,120ppm)

2 ダイオキシン類

測定頻度	年4回
------	-----

測定業者：中外テクノス株式会社

項目	基準値		測定結果			評価
	法基準 (参考)	保証値	測定日	1号炉	2号炉	
大気排出基準 (ng-TEQ/m ³)	0.1以下	0.01以下	4/5	0.0000033	-	○
			7/5	-	0	○
スラグ等基準 * (ng-TEQ/g)	3以下	3以下	-	-	-	-
			-	-	-	-
飛灰基準 (ng-TEQ/g)	3以下	3以下	4/4	0.12		○
			7/4	0.31		○
主灰基準 * (ng-TEQ/g)	3以下	3以下	4/5	0.00083		○
			7/5	0.00043		○
水質(放流水) (pg-TEQ/l)	10以下	10以下	4/5	0.064		○
			7/5	0.15		○

*) 熔融スラグは発生していないため、主灰を測定しています。

3 騒音基準（清掃工場敷地境界及び敷地内）

測定頻度	年1回
------	-----

測定日 令和4年7月7日～7月8日

項目(時間帯)	基準値
昼間：午前8時～午後7時	50dB
朝夕：午前6時～午前8時, 午後7時～午後10時	45dB
夜間：午後10時～午前6時	40dB

測定業者：中外テクノス株式会社

測定結果			測定結果		
昼間 (50dB 以下)			夕 (45dB 以下)		
測定位置	測定結果	評価	測定位置	測定結果	評価
No. 1	47	-	No. 1	44	-
No. 2	-	-	No. 2	-	-
No. 3	44	-	No. 3	42	-
No. 4	-	-	No. 4	-	-
No. 5	-	-	No. 5	-	-
No. 6	-	-	No. 6	-	-
No. 7	-	-	No. 7	-	-
No. 8	-	-	No. 8	-	-
No. 9	-	-	No. 9	-	-
No. 10	-	-	No. 10	-	-
No. 11	-	-	No. 11	-	-
No. 12	-	-	No. 12	-	-
No. 13	-	-	No. 13	-	-
No. 14	-	-	No. 14	-	-
No. 15	50	-	No. 15	44	-
No. 16	-	-	No. 16	-	-
No. 17	48	-	No. 17	44	-
No. 18	-	-	No. 18	-	-
No. 19	-	-	No. 19	-	-
No. 20	-	-	No. 20	-	-

単位：dB

〈補足〉

夏季は参考として測定のため、測定位置は No. 1, No. 3, No. 15, No. 17 の 4 地点のみです。また、評価も行いません。

測定結果			測定結果		
夜間 (40dB 以下)			朝 (45dB 以下)		
測定位置	測定結果	評価	測定位置	測定結果	評価
No. 1	38	-	No. 1	43	-
No. 2	-	-	No. 2	-	-
No. 3	37	-	No. 3	42	-
No. 4	-	-	No. 4	-	-
No. 5	-	-	No. 5	-	-
No. 6	-	-	No. 6	-	-
No. 7	-	-	No. 7	-	-
No. 8	-	-	No. 8	-	-
No. 9	-	-	No. 9	-	-
No. 10	-	-	No. 10	-	-
No. 11	-	-	No. 11	-	-
No. 12	-	-	No. 12	-	-
No. 13	-	-	No. 13	-	-
No. 14	-	-	No. 14	-	-
No. 15	39	-	No. 15	44	-
No. 16	-	-	No. 16	-	-
No. 17	39	-	No. 17	45	-
No. 18	-	-	No. 18	-	-
No. 19	-	-	No. 19	-	-
No. 20	-	-	No. 20	-	-

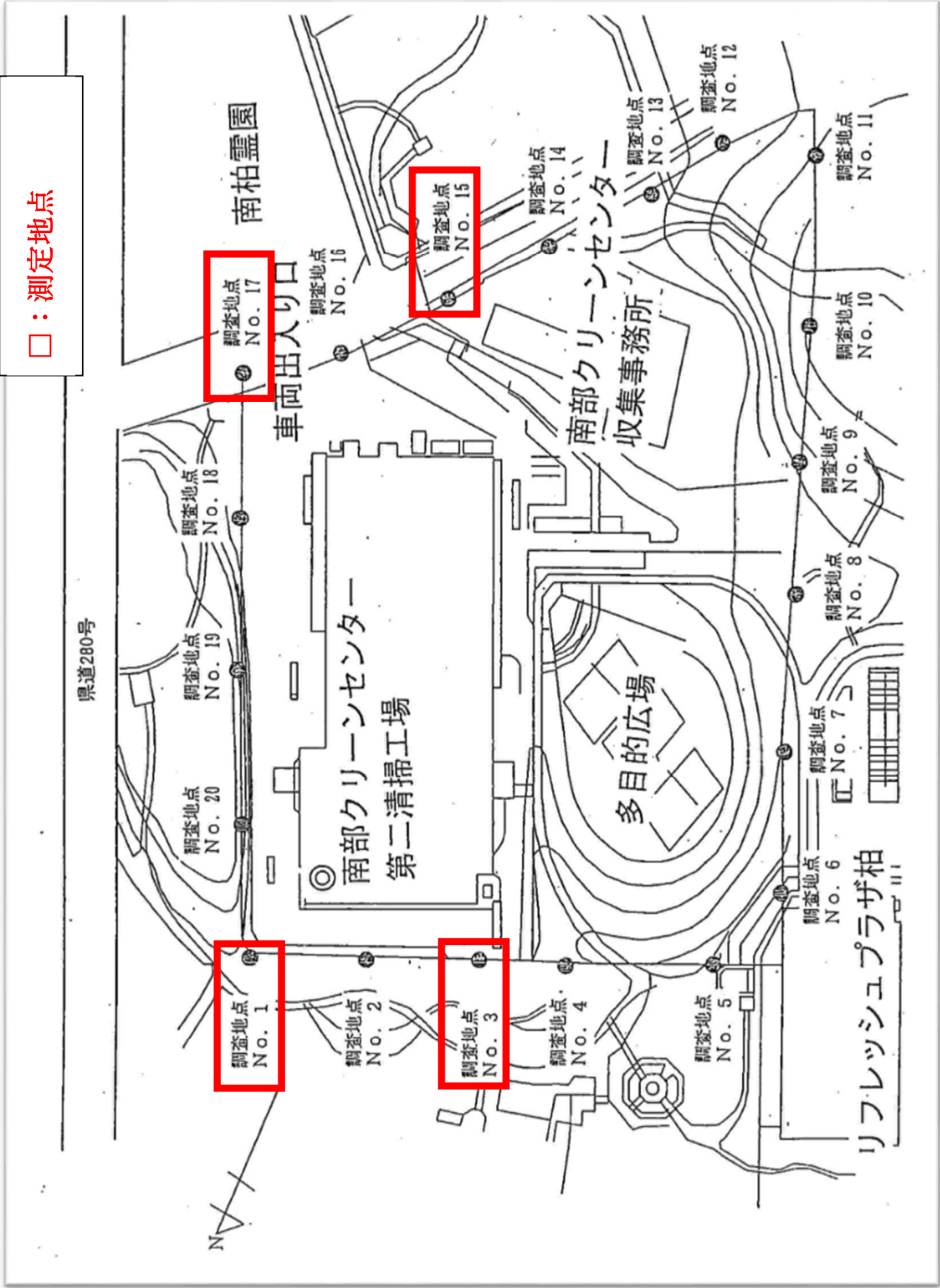
単位：dB

〈補足〉

夏季は参考として測定のため、測定位置は No. 1, No. 3, No. 15, No. 17 の 4 地点のみです。また、評価も行いません。

騒音，振動，悪臭調査地点図

□：測定地点



4 振動基準（清掃工場敷地境界）

測定頻度	年1回
------	-----

項目（時間帯）	基準値
昼間：午前8時～午後7時	55 dB以下
夜間：午後7時～午前8時	50 dB以下

測定結果（R4.7月7日実施）

測定業者：中外テクノス株式会社

測定位置	測定結果			
	昼間	評価	夜間	評価
No. 1	25 未満	-	25 未満	-
No. 3	27	-	25 未満	-
No. 15	27	-	25	-
No. 17	27	-	25 未満	-

単位：dB

〈補足〉

夏季は参考として測定のため、測定位置は No. 1, No. 3, No. 15, No. 17 の 4 地点のみです。また、評価も行いません。

5 悪臭基準（清掃工場敷地境界）

測定頻度	年 1 回
------	-------

項目	基準値		評価
	法基準(参考)	保証値	
臭気濃度	1.5程度 *1	1.0以下	
悪臭物質	測定結果表に記載		—

*1) 千葉県悪臭物質防止対策指針(昭和56年6月)

測定箇所 (R4.7月5日実施)

測定業者：中外テクノス株式会社

項目	基準値	測定位置	測定結果	
			測定日 7/5	評価
臭気濃度	1.0以下	No. 1	1.0未満	-
		No. 3	1.0未満	=
		No. 5	-	-
		No. 7	-	-
		No. 9	-	-
		No. 11	-	-
		No. 13	-	-
		No. 15	1.0未満	-
		No. 17	1.0未満	-
		No. 19	-	-

〈補足〉

夏季は参考として測定のため、測定位置は No. 1, No. 3, No. 15, No. 17 の 4 地点のみです。また、評価も行いません。

悪臭物質測定結果表

測定業者：中外テクノス株式会社

項目	基準値 (単位 ppm)	測定結果
風 向	—	南南西
風 速(m/ s)	—	1.5
風下地点	—	No. 17
アンモニア	1以下	検出せず
メチルメルカプタン	0.002以下	検出せず
硫化水素	0.02以下	検出せず
硫化メチル	0.01以下	検出せず
二硫化メチル	0.009以下	検出せず
トリメチルアミン	0.005以下	検出せず
アセトアルデヒド	0.05以下	0.005
プロピオンアルデヒド	0.05以下	検出せず
ノルマルブチルアルデヒド	0.009以下	検出せず
イソブチルアルデヒド	0.02以下	検出せず
ノルマルバレルアルデヒド	0.009以下	検出せず
イソバレルアルデヒド	0.003以下	検出せず
イソブタノール	0.9以下	検出せず
酢酸エチル	3以下	検出せず
メチルイソブチルケトン	1以下	検出せず
トルエン	10以下	検出せず
スチレン	0.4以下	検出せず
キシレン	1以下	検出せず
プロピオン酸	0.03以下	検出せず
ノルマル酪酸	0.001以下	検出せず
ノルマル吉草酸	0.0009以下	検出せず
イソ吉草酸	0.001以下	検出せず

特記事項

検出せずとは定量下限値未満のことです。

6 排水基準

測定頻度	年2回
------	-----

項目	基準値	評価
プラント排水	測定結果表に記載	○

測定結果表 (R4.7月5日実施)

測定業者：中外テクノス株式会社

項目	単位	基準値	測定結果
温度	℃	45未満	25
水素イオン濃度	—	5を超え9未満	7.1
生物化学的酸素要求量	mg/L	600未満	4.2
浮遊物質	mg/L	600未満	4.0
N-ヘキサン抽出物質動物油脂類	mg/L	30以下	0.5 未満
N-ヘキサン抽出物質鉱物油類	mg/L	5以下	0.5 未満
よう素消費量	mg/L	220以下	2 未満
カドミウム	mg/L	0.01以下	0.001 未満
シアン	mg/L	検出されないこと	不検出*
有機リン	mg/L	検出されないこと	不検出*
鉛	mg/L	0.1以下	0.01 未満
六価クロム	mg/L	0.05以下	0.005 未満
ひ素	mg/L	0.05以下	0.005 未満
総水銀	mg/L	0.0005以下	0.00005 未満
アルキル水銀	mg/L	検出されないこと	不検出*
ポリ塩化ビフェニル	mg/L	検出されないこと	不検出*
フェノール類	mg/L	0.5以下	0.02 未満
銅	mg/L	1以下	0.01 未満
亜鉛	mg/L	2以下	0.01 未満
溶解性鉄	mg/L	5以下	0.29
溶解性マンガン	mg/L	5以下	0.11
総クロム	mg/L	1以下	0.01 未満
ふっ素	mg/L	8以下	0.3
全リン	mg/L	32以下	0.19
総窒素	mg/L	240以下	8.1
トリクロロエチレン	mg/L	0.1以下	0.01 未満
テトラクロロエチレン	mg/L	0.1以下	0.01 未満
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	3以下	0.3 未満

四塩化炭素	mg/L	0.02以下	0.002 未満
ジクロロメタン	mg/L	0.2以下	0.02 未満
1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.04以下	0.004 未満
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	1以下	0.02 未満
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.4以下	0.04 未満
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	0.06以下	0.006 未満
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	0.02以下	0.002 未満
ベンゼン	mg/L	0.1以下	0.01 未満
チウラム	mg/L	0.06以下	0.006 未満
シマジン	mg/L	0.03以下	0.003 未満
チオベンカルブ	mg/L	0.2以下	0.02 未満
セレン	mg/L	0.1以下	0.005 未満
ホウ素	mg/L	10以下	0.06
アンモニア性窒素, 亜硝酸性窒素および硝酸性窒素	mg/L	380以下	7.9
1,4-ジオキサン	mg/L	0.5以下	0.05 未満

特記事項

* 不検出とは、定量下限値未満を示す
測定場所：放流樹

7 溶融スラグ及び飛灰固化物

測定頻度	年 1 2 回
------	---------

項目	基準値	評価
溶融スラグ	土壌環境基準	—
飛灰固化物	埋立に係る判定基準	○
主灰	埋立に係る判定基準	○

* 現在溶融炉を休止しているため溶融スラグは発生していません。

* 飛灰固化物は焼却飛灰固化物の測定結果です。

飛灰固化物（溶出試験）

測定業者：中外テクノス株式会社

項目	基準値	測定日	測定結果
アルキル水銀化合物	検出されないこと	2/1	不検出 *1
		3/1	不検出 *1
		4/4	不検出 *1
		5/9	不検出 *1
		6/	*2
		7/4	不検出 *1
水銀又はその化合物	0.005mg/1 以下	2/1	0.0015
		3/1	0.0007
		4/4	0.0010
		5/9	0.0005 未満
		6/	*2
		7/4	0.0005 未満
カドミウム又はその化合物	0.09mg/1 以下	2/1	0.009 未満
		3/1	0.009 未満
		4/4	0.009 未満
		5/9	0.009 未満
		6/	*2
		7/4	0.009 未満
鉛又はその化合物	0.3mg/1 以下	2/1	0.01 未満
		3/1	0.01 未満
		4/4	0.01 未満
		5/9	0.02
		6/	*2
		7/4	0.01 未満

有機リン化合物	1mg/1 以下	2/1	0.1 未満
		3/1	0.1 未満
		4/4	0.1 未満
		5/9	0.1 未満
		6/	*2
		7/4	0.1 未満
六価クロム化合物	1.5mg/1 以下	2/1	0.2 未満
		3/1	0.2 未満
		4/4	0.08
		5/9	0.17
		6/	*2
		7/4	0.14
ヒ素又はその化合物	0.3mg/1 以下	2/1	0.010
		3/1	0.005 未満
		4/4	0.005 未満
		5/9	0.005 未満
		6/	*2
		7/4	0.005 未満
シアン化合物	1.0mg/1 以下	2/1	0.01 未満
		3/1	0.01 未満
		4/4	0.01 未満
		5/9	0.01 未満
		6/	*2
		7/4	0.01 未満
ポリ塩化ビフェニル	0.003mg/1 以下	2/1	0.0003 未満
		3/1	0.0003 未満
		4/4	0.0003 未満
		5/9	0.0003 未満
		6/	*2
		7/4	0.0003 未満
トリクロロエチレン	0.3mg/1 以下	2/1	0.01 未満
		3/1	0.01 未満
		4/4	0.01 未満
		5/9	0.01 未満
		6/	*2
		7/4	0.01 未満
テトラクロロエチレン	0.1mg/1 以下	2/1	0.01 未満
		3/1	0.01 未満
		4/4	0.01 未満
		5/9	0.01 未満
		6/	*2
		7/4	0.01 未満

セレン又は その化合物	0.3mg/1 以下	2/1	0.015
		3/1	0.011
		4/4	0.015
		5/9	0.029
		6/	*2
		7/4	0.035
1. 4-ジオキサン	0.5mg/1 以下	2/1	0.05 未満
		3/1	0.05 未満
		4/4	0.05 未満
		5/9	0.05 未満
		6/	*2
		7/4	0.05 未満

特記事項

*1) 不検出とは定量下限値未満を示す

*2) 6月分は未実施

主灰（溶出試験）

測定業者：中外テクノス株式会社

試験項目	基準値	測定日	測定結果
アルキル水銀化合物	検出されないこと	2/1	不検出*1
		3/1	不検出*1
		4/5	不検出*1
		5/10	不検出*1
		6/	*2
		7/5	不検出*1
水銀又は その化合物	0.005mg/1 以下	2/1	0.0005 未満
		3/1	0.0005 未満
		4/5	0.0005 未満
		5/10	0.0005 未満
		6/	*2
		7/175	0.0005 未満
カドミウム又は その化合物	0.09mg/1 以下	2/1	0.009 未満
		3/1	0.009 未満
		4/5	0.009 未満
		5/10	0.009 未満
		6/	*2
		7/5	0.009 未満
鉛又は その化合物	0.3mg/1 以下	2/1	0.01 未満
		3/1	0.01 未満
		4/5	0.01 未満
		5/10	0.01 未満
		6/	*2

		7/5	0.01 未満
有機リン化合物	1mg/1 以下	2/1	0.1 未満
		3/1	0.1 未満
		4/5	0.1 未満
		5/10	0.1 未満
		6/	*2
		7/5	0.1 未満
六価クロム化合物	1.5mg/1 以下	2/1	0.05 未満
		3/1	0.05 未満
		4/5	0.05 未満
		5/10	0.05 未満
		6/	*2
		7/5	0.05 未満
ヒ素又はその化合物	0.3mg/1 以下	2/1	0.005 未満
		3/1	0.005 未満
		4/5	0.005 未満
		5/10	0.005 未満
		6/	*2
		7/5	0.005 未満
シアン化合物	1.0mg/1 以下	2/1	0.01 未満
		3/1	0.01 未満
		4/5	0.01 未満
		5/10	0.01 未満
		6/	*2
		7/5	0.01 未満
ポリ塩化ビフェニル	0.003mg/1 以下	2/1	0.0003 未満
		3/1	0.0003 未満
		4/5	0.0003 未満
		5/10	0.0003 未満
		6/	*2
		7/5	0.0003 未満
トリクロロエチレン	0.3mg/1 以下	2/1	0.01 未満
		3/1	0.01 未満
		4/5	0.01 未満
		5/10	0.01 未満
		6/	*2
		7/5	0.01 未満
テトラクロロエチレン	0.1mg/1 以下	2/1	0.01 未満
		3/1	0.01 未満
		4/5	0.01 未満
		5/10	0.01 未満
		6/	*2

		7/5	0.01 未満
セレン又はその化合物	0.3mg/l 以下	2/1	0.005 未満
		3/1	0.005 未満
		4/5	0.005 未満
		5/10	0.005 未満
		6/	*2
		7/5	0.005 未満
		1. 4-ジオキサン	0.5mg/l 以下
3/1	0.05 未満		
4/5	0.05 未満		
5/10	0.05 未満		
6/	*2		
7/5	0.05 未満		

特記事項

*1) 不検出とは、定量下限値未満を示す

*2) 6月分は未実施

8 熱灼減量(主灰)

測定頻度	年12回
------	------

項目	基準値	
	法基準(参考)	保証値
主灰	10%以下	3%以下

測定業者：中外テクノス株式会社

項目	保証値	測定日	測定値	評価
熱灼減量 *	3%以下	2/1	0.1未満	○
		3/1	0.1未満	○
		4/5	0.3	○
		5/10	0.2	○
		6/1	0.1未満	○
		7/5	0.3	○

*) 熱灼減量は、炉内でごみがどの程度完全に燃焼しているかの評価に用いられ、熱灼減量が小さいほど、より完全に燃焼していることを示します。

第2 周辺環境監視項目

1 大気測定（工場棟西側）

測定頻度	常時モニタリング
------	----------

【長期的評価】

項目	基準値	令和3年度	評価(*3)
二酸化硫黄	日平均値の2%除外値(*1)が0.04ppm以下	0.0019ppm	○
	日平均値が0.04ppmを越えた日が2日以上連続しない	該当なし	
二酸化窒素	日平均値の98%値(*2)が0.04~0.06ppm内又はそれ以下	0.0273ppm	○
浮遊粒子状物質	日平均値の2%除外値が0.1mg/m ³ 以下	0.0307mg/m ³	○
	日平均値が0.1mg/m ³ を超えた日が2日以上連続しない	該当なし	○

- *1) 2%除外値とは、1年間のすべての日平均値を値の高い方から低い方に順（降順に並べたとき、最高値から数えて2%分の日数に1を加えた番号に該当する日平均値
- *2) 98%値とは、1年間のすべての日平均値を値の低い方から高い方に順（昇順に並べて、最低値から数えて98%目の該当する日平均値
- *3) 評価は前年度1年間のモニタリングの結果で行います。

2 大気中のダイオキシン類

測定頻度	年4回
------	-----

ダイオキシン類 <令和4年度>

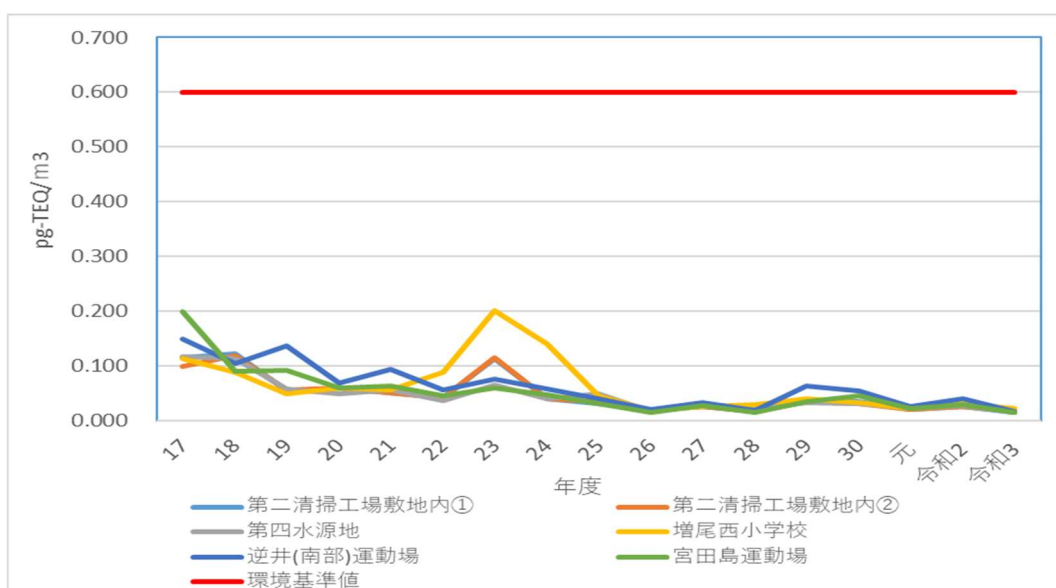
測定業者：上総環境調査センター

単位：[pg-TEQ/m³]

地点名	春季	夏季	秋季	冬季	平均値	評価 *4
	5月25日 ～6月1日	7月7日 ～14日	10月12日 ～19日	1月11日 ～18日		
第二清掃工場敷地内	0.0081	0.016				
	0.0065*1	0.015*1				
第四水源地	0.0073	0.016				
増尾西小学校	0.011	0.026				
逆井(南部)運動場	0.022	0.018				
宮田島運動場	0.052	0.011				
環境基準値	0.6以下					
千葉県(65地点)*2	0.00083～0.12(平均値 0.032)					
全国(621地点)*3	0.0025～0.24(平均値 0.017)					

- *1) 第二清掃工場敷地内測定の下段は二重測定した結果です。二重測定とは測定の信頼性を評価する目的で行うものであり、2つの試料を採取から分析まで同一条件で行い、算出した2つの全異性体濃度の差が±30%以内であることを確認し、信頼性を判断しております。
- *2) 千葉県平均値：「令和2年度ダイオキシン類に係る常時監視結果について」（令和3年8月千葉県）記載の一般環境大気中のダイオキシン類濃度の平均値
- *3) 全国平均値：「令和元年度ダイオキシン類に係る環境調査結果」（令和2年3月環境省）記載の一般環境大気中のダイオキシン類濃度の平均値
- *4) 評価は年度平均値で行います。評価結果は次回の委員会で報告いたします。

参考 大気中のダイオキシン 平成17～令和3年度 平均値



3 井戸水調査（第四水源地7号井戸原水水質試験）

井戸水検査は1回/年 柏市水道部第4水源地第7号井戸で実施しています。

令和4年6月20日（ダイオキシン類は6月30日）に採水を行い、測定値は浄水基準値に適合しています。

測定責任者：柏市浄水課

項目	法基準	測定結果
採水日	—	6月20日
水温	—	18.0
一般細菌	100以下	0
大腸菌	検出されないこと	不検出
カドミウム及びその化合物	0.003mg/1以下	0.0003 未満
水銀及びその化合物	0.0005mg/1以下	0.00005 未満
セレン及びその化合物	0.01mg/1以下	0.001 未満
鉛及びその化合物	0.01mg/1以下	0.001 未満
ヒ素及びその化合物	0.01mg/1以下	0.001 未満
六価クロム化合物	0.05mg/1以下	0.002 未満
亜硝酸態窒素	0.04mg/1以下	0.004 未満
シアン化物イオンおよび塩化シアン	0.01mg/1以下	0.001 未満
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10mg/1以下	0.02 未満
フッ素及びその化合物	0.8mg/1以下	0.08
ホウ素及びその化合物	1.0mg/1以下	0.1 未満
四塩化炭素	0.002mg/1以下	0.0002 未満
1,4-ジオキサン	0.05mg/1以下	0.005 未満
シス-1,2-ジクロロエチン及び トランス-1,2-ジクロロエチン	0.04mg/1以下	0.004 未満
ジクロロメタン	0.02mg/1以下	0.002 未満
テトラクロロエチレン	0.01mg/1以下	0.001 未満
トリクロロエチレン	0.01mg/1以下	0.001 未満
ベンゼン	0.01mg/1以下	0.001 未満
塩素酸	0.6mg/1以下	*1
クロロ酢酸	0.02mg/1以下	*1
クロロホルム	0.06mg/1以下	*1
ジクロロ酢酸	0.03mg/1以下	*1
ジブロモクロロメタン	0.1mg/1以下	*1
臭素酸	0.01mg/1以下	*1
総トリハロメタン	0.1mg/1以下	*1
トリクロロ酢酸	0.03mg/1以下	*1

ブロモジクロロメタン	0.03mg/1 以下	*1
ブロモホルム	0.09mg/1 以下	*1
ホルムアルデヒド	0.08mg/1 以下	*1
亜鉛及びその化合物	1.0mg/1 以下	0.1 未満
アルミニウム及びその化合物	0.2mg/1 以下	0.01 未満
鉄及びその化合物	0.3mg/1 以下	0.03 未満
銅及びその化合物	1.0mg/1 以下	0.1 未満
ナトリウム及びその化合物	200mg/1 以下	9.7
マンガン及びその化合物	0.05mg/1 以下	0.031
塩化物イオン	200mg/1 以下	5.2
カルシウム、マグネシウム等(硬度)	300mg/1 以下	67
蒸発残留物	500mg/1 以下	148
陰イオン界面活性剤	0.2mg/1 以下	0.02 未満
ジェオスミン	0.00001mg/1 以下	*1
2-メチルイソボルネオール	0.00001mg/1 以下	*1
非イオン界面活性剤	0.02mg/1 以下	0.005 未満
フェノール類	0.005mg/1 以下	0.0005 未満
有機物(全有機炭素(TOC)の量)	3mg/1 以下	0.33
PH 値	5.8 以上 8.6 以下	7.7
味	異常でないこと	-
臭気	異常でないこと	微硫化水素臭
色度	5 以下	1.8
濁度	2 以下	0.5
アンモニア態窒素	*2	0.56 (mg/1)
アルカリ度	*2	89.5 (mg/1)
導電度	*2	182 (μ S/cm)
ダイオキシン類	目標値 1pg-TEQ/1 以下	0.0035

* 地下水には基準値は適用されません。

*1) 塩素酸～ホルムアルデヒドの11項目は塩素消毒によって生じる副生成物であること。また、ジェオスミン、2-メチルイソボルネオールは河川や湖沼の水を原水とする場合に問題となる物質であることから、井戸水では測定していません。

*2) 基準値は定められておりませんが、水源監視の観点から測定しております。

第3 報告事項（令和4年2月～令和4年7月）

<焼却炉>

○1号焼却炉の稼働日 令和4年2/1 ～6/1 （120日稼働）

○2号焼却炉の稼働日 令和4年2/18 ～3/8 （19日稼働）

令和4年6/30～7/31 （32日稼働）

※全炉停止期間<令和4年6/2～令和4年6/29>（28日停止）

1～4（焼却量，排ガス量，排水量，灰溶融量）

	項目	協定事項	実績（日時）	評価
1	焼却量	最大 250 t/日以下 年平均 200 t/日以下	最大 237.20 t/日 (3/3) *2 炉運転 平均焼却量： 105.04 t/日 稼働日平均： 124.27 t/日	○
2	排ガス量	最大 36,540 Nm ³ h / 1 時間・1 系列	1 号炉:最大 29,400m ³ / h (5/23) 2 号炉:最大 31,500m ³ / h (6/30)	○
3	排水量	最大 315 m ³ /日	最大 104.59 m ³ /日 (3/7)	○
4	灰溶融量	最大 23 t/日・炉	運転なし	—

5 第二清掃工場に係る事故

事故の発生はありません。

6 その他必要な事項

(1) 前回第二清掃工場委員会後の故障等

故障等の発生はありません。

(2) 一般の苦情

苦情等はありません。

(3) 小規模爆発事故後の水素濃度について報告

平成25年10月22日小規模爆発事故後、主灰バイパスコンベア等の水素濃度を継続して確認しています

水素濃度測定結果（日別最大値）

（令和4年2月～令和4年7月）

測定業者：柏環境テクノロジー

項目	評価基準	測定最大値（平均値）	評価
水素濃度（主灰バイパスコンベア）	0.8%	0.164%(0.046%)	○
（加湿機水封部）		0.22%(0.044%)	○
（加湿機駆動部）		0.72%(0.118%)	○

第4 放射性物質対応経過について

1 指定廃棄物の保管量

令和4年9月現在

保管場所	保管方法	保管量	
南部クリーンセンター	仮保管庫(ボックスカルバート)	約493t	約373t
	工場建屋内		約120t
北部クリーンセンター	仮保管庫(ボックスカルバート)	約494t	
柏市最終処分場	処分場内(コンクリートボックス)	約76t	
合計		約1,063t	

* 指定廃棄物の量の増減はありません。

2 焼却灰等の測定結果(放射性セシウム134, 137)

(1) 主灰・焼却飛灰固化物：(Bq/kg)，放流水：(Bq/l)

測定業者：東京テクニカル・サービス

年月	採取日	主灰	採取日	焼却飛灰固化物	採取日	放流水
R4年2月分	2/8	19	2/7	210	2/8	不検出
R4年3月分	3/8	44	3/7	310	3/8	不検出
R4年4月分	4/12	94	4/11	310	4/12	不検出
R4年5月分	5/10	130	5/9	699	5/10	不検出
R4年6月分	6/1	150	6/1	480	6/1	不検出
R4年7月分	7/12	77	7/11	491	7/12	不検出

(2) 排出ガス：(Bq/m³) 測定業者：東京テクニカル・サービス

試料採取日	円筒ろ紙部	ドレン部
R4年2月2日	不検出	不検出
R4年3月13日	不検出	不検出
R4年4月11日	不検出	不検出
R4年5月9日	不検出	不検出
R4年6月	*	*
R4年7月12日	不検出	不検出

* 6月分の排ガス測定は定期修繕期間のため未実施

3 空間量測定結果の経過について

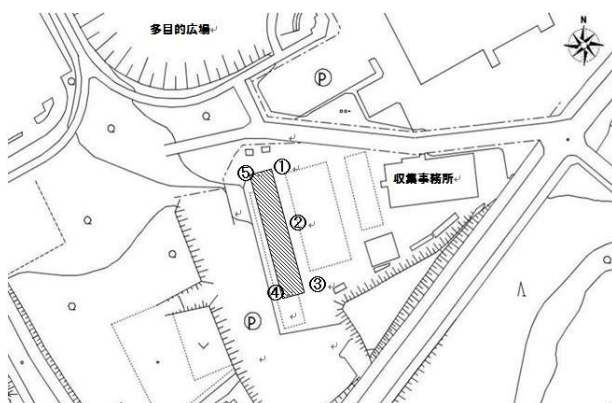
(1) 柏市南部クリーンセンター周辺の空間放射線量測定の結果について



測定結果 (μSv (マイクロシーベルト)/時)

測定日	測定高	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
R2. 8. 18	5cm	0.07	0.06	0.09	0.07	0.07	0.05	0.03	0.07	0.10
R3. 8. 16		0.06	0.06	0.07	0.05	0.05	0.04	0.03	0.07	0.10
R4. 8. 17		0.06	0.08	0.08	0.07	0.05	0.05	0.04	0.06	0.09
R2. 8. 18	50cm	0.08	0.06	0.09	0.08	0.07	0.05	0.04	0.08	0.10
R3. 8. 16		0.07	0.07	0.08	0.07	0.04	0.04	0.04	0.07	0.09
R4. 8. 17		0.08	0.07	0.07	0.05	0.04	0.05	0.05	0.07	0.07
R2. 8. 18	1m	0.08	0.08	0.08	0.06	0.06	0.04	0.05	0.08	0.10
R3. 8. 16		0.06	0.08	0.07	0.06	0.05	0.04	0.03	0.05	0.09
R4. 8. 17		0.07	0.07	0.08	0.06	0.06	0.04	0.03	0.07	0.09

(2) 仮保管庫周辺の空間放射線量測定の結果について



測定結果 (μSv (マイクロシーベルト)/時)

測定日	測定高	①	②	③	④	⑤
R2. 8. 18	1m	0.061	0.085	0.080	0.098	0.086
R3. 8. 16		0.048	0.064	0.066	0.068	0.065
R4. 8. 17		0.060	0.072	0.070	0.064	0.088

4 大規模災害等の緊急時における指定廃棄物の保管に係る訓練

1 南部クリーンセンター内の放射性物質を含む焼却灰の仮保管に関する隣接町会との確認書に基づき、緊急事対応として毎年度訓練を実施しています。

2 今年度の訓練実施状況

①訓練日

令和4年6月30日(木)

②想定被害状況

- ・首都圏直下型地震(震度5強)発生
- ・地震直後にボックスカルバート及び工場棟地下保管場所の点検
- ・ボックスカルバート異常無し
- ・工場棟地下保管場所No.1の遮断扉が倒れ、周囲の放射線量の異常発見

③訓練概要

- ・地震によりライフラインへの影響があり、焼却炉を停止する想定で実施
- ・ボックスカルバート及び工場棟地下保管場所の目視点検、放射線量測定
- ・工場棟地下保管場所No.1にカラーコーンを設置
- ・工場棟地上部の放射線量測定
- ・No.1の扉を補修した後に放射線量測定
- ・隣接5町会・自治会に報告

第5 実施状況及び今後の日程について

開催日	委員会名	主な議題
平成17年9月30日	第1回定例会	監視項目等の測定結果及び報告事項他
平成17年11月11日	第8回臨時会	飛灰固化物（溶融）の基準値超過に対する原因究明及び改善措置等
平成18年2月10日	第9回臨時会	飛灰固化物砒素溶出対策の検証
平成18年3月29日	第2回定例会	1 監視項目等の測定結果及び報告事項他 2 飛灰固化物砒素等溶出対策のまとめ
平成18年9月29日	第3回定例会	監視項目等の測定結果及び報告事項他
平成19年3月27日	第4回定例会	監視項目等の測定結果及び報告事項他
平成19年9月28日	第5回定例会	1 監視項目等の測定結果及び報告事項他 2 周辺住民への情報提供
平成19年12月1日	第10回臨時会	煙突錆飛散対策のについて
平成20年3月27日	第6回定例会	監視項目等の測定結果及び報告事項他
平成20年9月30日	第7回定例会	監視項目等の測定結果及び報告事項他
平成21年3月26日	第8回定例会	監視項目等の測定結果及び報告事項他
平成21年9月30日	第9回定例会	監視項目等の測定結果及び報告事項他
平成22年3月26日	第10回定例会	監視項目等の測定結果及び報告事項他
平成22年9月29日	第11回定例会	監視項目等の測定結果及び報告事項他
平成23年3月25日	第12回定例会	1 監視項目等の測定結果及び報告事項他 2 東北地方太平洋沖地震発生による対応
平成23年4月20日	第11回臨時会	飛灰固化物における鉛の規準値超過

平成23年7月13日	第12回臨時会	1 飛灰固化物における鉛の規準値超過 2 放射能に汚染されたごみの焼却灰に関する対応について
平成23年9月30日	第13回定例会	1 監視項目等の測定結果及び報告事項他 2 放射性物質対応経過 3 地震時運転マニュアル
平成24年3月28日	第14回定例会	1 監視項目等の測定結果及び報告事項他 2 放射性物質対応経過 3 地震時運転マニュアル
平成24年6月6日	第13回臨時会	1 焼却灰仮保管施設について
平成24年9月28日	第15回定例会	1 監視項目等の測定結果及び報告事項他 2 放射性物質対応経過 3 地震時運転マニュアル
平成25年3月28日	第16回定例会	1 監視項目等の測定結果及び報告事項他 2 放射性物質対応経過
平成25年9月27日	第17回定例会	1 監視項目等の測定結果及び報告事項他 2 放射性物質対応経過
平成25年11月1日	第14回臨時会	柏市第二清掃工場内小規模爆発について
平成26年3月28日	第18回定例会	監視項目等の測定結果及び報告事項他

平成 26 年 9 月 26 日	第 1 9 回定例会	監視項目等の測定結果及び報告事項他
平成 27 年 3 月 27 日	第 2 0 回定例会	監視項目等の測定結果及び報告事項他
平成 27 年 10 月 2 日	第 2 1 回定例会	監視項目等の測定結果及び報告事項他
平成 28 年 3 月 25 日	第 2 2 回定例会	監視項目等の測定結果及び報告事項他
平成 28 年 9 月 30 日	第 2 3 回定例会	監視項目等の測定結果及び報告事項他
平成 29 年 3 月 24 日	第 2 4 回定例会	監視項目等の測定結果及び報告事項他
平成 29 年 9 月 29 日	第 2 5 回定例会	監視項目等の測定結果及び報告事項他
平成 30 年 3 月 23 日	第 2 6 回定例会	監視項目等の測定結果及び報告事項他
平成 30 年 9 月 28 日	第 2 7 回定例会	監視項目等の測定結果及び報告事項他
平成 31 年 3 月 22 日	第 2 8 回定例会	監視項目等の測定結果及び報告事項他
令和元年 10 月 3 日	第 2 9 回定例会	監視項目等の測定結果及び報告事項他
令和 2 年 3 月 27 日	第 3 0 回定例会 (開催中止)	監視項目等の測定結果及び報告事項他
令和 2 年 10 月 16 日	第 3 1 回定例会	監視項目等の測定結果及び報告事項他
令和 3 年 3 月	第 3 2 回定例会 (書面会議)	監視項目等の測定結果及び報告事項他
令和 3 年 10 月	第 3 3 回定例会 (書面会議)	監視項目等の測定結果及び報告事項他
令和 4 年 3 月 25 日	第 3 4 回定例会 (書面会議)	監視項目等の測定結果及び報告事項他
令和 4 年 10 月 6 日 (今回)	第 3 5 回定例会	監視項目等の測定結果及び報告事項 委員改選
令和 5 年 3 月下旬 (次回予定)	第 3 6 回定例会	監視項目等の測定結果及び報告事項